

# 道経連通信

No. 661

発行所／北海道経済連合会

TEL011-221-6166 / FAX011-221-3608

発行人／菅原 光宏 頁数 3頁

編集／鎌田康輔、袖川知恵美

平成28年10月5日号（毎月5、20日発行）

今後の主要事業

## 【10月以降の主な行事予定】

日時	行事		
	場所	グループ・局	担当
10月11日(火) 15:30～17:30	平成28年度 第2回 地域政策委員会		
	道経連会議室	地域政策グループ	植木・木村
10月20日(木) 15:00～17:00	平成28年度 第1回 産業振興委員会		
	道経連会議室	食クラスターグループ	古館
10月25日(火) 11:00～13:00	平成28年 10月度 会長・副会長会議		
	道経連会議室	企画総務グループ	堀田・鎌田
11月2日(水) 15:00～18:00	平成28年度 上期 活動報告会		
	札幌東急REIホテル	食クラスターグループ	高橋
11月9日(水) 10:00～13:00	第229回 常任理事会		
	札幌グランドホテル	企画総務グループ	堀田・鎌田

## 【10月以降の講座講習会】

日時	講座講習会名		
	場所	グループ・局	受講料
11月2日(水) 10:00～16:00	給与計算と年末調整の実務講座 ～給与計算・社会保険・税金の取り扱いと留意点&年末調整の手続き～		
	道特会館 5階 大会議室A	労働政策局	会員 11,880円 一般 15,120円
11月7日(月) 8日(火) 10:00～17:00	第一種・第二種 衛生管理者受験のための対策講座		
	道特会館 2階 大会議室	労働政策局	第一種 27,540円 第二種 25,380円
11月10日(木) 10:00～17:00	2016新入社員フォローアップ研修 ～周りから信頼される人を目指そう～		
	道特会館 5階 大会議室A	労働政策局	会員 15,120円 一般 18,360円
11月15日(火) 14:00～16:30	平成28年度 助成金活用セミナー 一助成金の内容を分かりやすく解説します一		
	道特会館 6階 中会議室	労働政策局	会員 5,400円 一般 7,560円
11月16日(水) 17日(木) 10:00～17:00	管理・監督者に求められる行動 一管理の原理原則の習得一		
	道特会館 5階 大会議室A	労働政策局	会員 28,080円 一般 30,240円
11月24日(木) 13:00～17:00	年金・退職金知識講座 ～基礎知識取得と賃金制度等人事制度見直しのために～		
	道特会館 6階 中会議室	労働政策局	会員 8,640円 一般 10,800円
11月29日(火) 13:00～17:00	富岡公治法律事務所講演会		
	すみれホテル 3階 ヴィオレ	労働政策局	会員 8,640円 一般 10,800円
12月6日(火) 13:00～17:00	従業員の交通事故と企業責任 ～交通事故リスクから企業を守るために～		
	道特会館 6階 中会議室	労働政策局	会員 8,640円 一般 10,800円

※講座・講習会の内容詳細及び申込書は当会ホームページにも掲載しております。

[http://www.dokeiren.gr.jp/roudou\\_seisaku/seminer/](http://www.dokeiren.gr.jp/roudou_seisaku/seminer/)

お問い合わせは 労働政策局 (TEL 011-251-3592) まで。

◆ 厚生労働省より

「介護支援プラン」普及研修のご案内(参加無料)

厚生労働省が委託する「仕事と介護の両立支援事業」による研修が札幌で開催されます。本研修では、2017年1月から施行される改正育児・介護休業法の情報も交え、仕事と介護の両立体制を作る上でのポイントや、取組を進める際に活用できる「介護支援プラン」モデルについて紹介します。従業員の仕事と介護支援に取組もうとする経営者・人事対象者や、介護支援を担う地域包括支援センター職員、ケアマネジャーなど、幅広い層の方が対象となります。ぜひご参加下さい。

【開催日程】

2016年10月20日(木) ①15:00~17:00 ②18:00~20:00

【講演テーマ】

「仕事と介護の両立支援に向けて」

～仕事と介護の両立支援の進め方や、取組を進める際に活用できる「介護支援プラン」モデルをご紹介～

【プログラム予定】

第1部 仕事と介護の両立に係る最近の状況

第2部 仕事と介護の両立支援の進め方

「仕事と介護の両立支援対応モデル」の紹介

第3部 「介護支援プラン」モデルの紹介と使い方のポイント

【定員】

50名(参加費無料)

【会場】

TKP札幌駅 カンファレンスセンター

札幌市北区北7条西2丁目9 ヘルビュオフィス札幌

【応募方法】

詳しくは下記のホームページをご覧ください

[http://www.murc.jp/seminar/murc/t\\_161024.pdf](http://www.murc.jp/seminar/murc/t_161024.pdf)

【問合せ先】

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)「支援介護プラン」普及研修事務局

TEL:03-6733-3402

◆ 経済産業省 資源エネルギー庁より

フォーラム in 札幌

「日本のエネルギーを考える ～核燃料サイクル施設の立地地域と電力の消費地域の対話～」

平成26年4月に新しい「エネルギー基本計画」が閣議決定され、昨年7月には長期エネルギー需給見通し(エネルギーミックス)が取りまとめられました。日本におけるエネルギーの現状や将来の姿について、化石エネルギーや再生可能エネルギー、原子力等のエネルギーミックスに対して、ご理解を深めていただくため、また、電力消費地域(北海道)の方々、核燃料サイクル施設の視察や立地地域の方々との対話等を通じて、実際に知り、感じたことを中心に皆さまとともに考えていただくため、フォーラムを開催いたします。

【日時】平成28年10月22日(土) 13:30~17:00(予定) ※開場13:00

【会場】TKP札幌ビジネスセンター 赤れんが前 5階はまなす

(札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日札幌会館)

【プログラム】

13:30 開会挨拶

13:50 特別講演「どうなる?暮らしのエネルギー ー電気代、自由化、温暖化ー」

国際環境経済研究所 理事・主席研究員 竹内 純子 氏

14:45 講演 北海道大学名誉教授 杉山 憲一郎 氏

15:20 消費地域学生によるプレゼンテーション

16:00 休憩

16:10 パネルディスカッション

17:00 閉会(予定)

【申込締切】平成28年10月14日(金) 必着(定員:200名(先着順))

【申込方法】詳しくは下記のホームページをご覧ください。

[http://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity\\_and\\_gas/nuclear/001/event/cycle-forum\\_2016/161022/](http://www.enecho.meti.go.jp/category/electricity_and_gas/nuclear/001/event/cycle-forum_2016/161022/)

【問合せ先】

フォーラム in 札幌「日本のエネルギーを考える」事務局

(一財)日本立地センター エネルギー室

TEL:0120-689-558

## ◆ 社会福祉法人北海道共同募金会より

### 共同募金へのご協力をお願いいたします

#### ■共同募金とは

共同募金は、法律（社会福祉法）に定められた唯一の募金運動であり、その目的は「地域福祉の推進」にあるとされています。

共同募金の最大の特徴は「計画募金」というしくみにあり、募金への協力の呼びかけをするに先立って、地域の福祉団体や施設からの資金ニーズを勘案し募金の計画を立て目標額を定めます。

そうして道民から寄せられた募金は毎年三千数百件の道内の民間福祉活動に幅広く助成されています。

また、都道府県共同募金会では同法に基づき国内の大規模災害に備えた積み立て（=災害等準備金）を行っており、このたびの道内における台風大雨災害の発生にあっても、この資金が被災地にお

ける災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営等に充てられる貴重な財源となりました。

道民の共有財産である共同募金はこのように私たちの身近な福祉活動や災害支援にも活かされ、「じぶんの町を良くするしくみ」として期待されています。

#### ■共同募金運動へのご協力を通じた社会貢献活動プログラムのご提案について

単に寄付をお預かりする、という事だけではなく、様々な形での両者のコラボレーションとでもいべき取り組みをご提案しております。詳しくは是非本会ホームページをご覧ください。

北海道共同募金会ホームページ

<http://www.akaihane-hokkaido.jp/>

“協力する方法”タブ「企業などの社会貢献活動(CSR)」参照

#### ■ひろがる「赤い羽根サポーター」の輪

長らく続く厳しい社会経済情勢のもと共同募金も苦戦を強いられていますが、反面で福祉団体や施設、ボランティアなどによる民間福祉活動の資金ニーズはますます高まりを見せております。

急速に進む少子高齢化を背景に私たちの暮らす町には様々な地域課題・社会課題が顕在化してきており、福祉団体や施設、ボランティアなどによる民間福祉活動のますますの活性化が求められます。

そうした活動を支える財源として期待される共同募金ですが、近年では、道内スポーツチームや本道ゆかりの漫画家の皆さんなどのご協力により運動が盛り上がりを見せてきています。

我々共同募金関係者は、この「赤い羽根サポーター」の輪を各界に拡げ、やがては個人・団体・企業を含む道民のすべてがサポーターになっていただきたいと願っています。

#### ■共同募金への寄付には税制上の優遇措置があります。

株式会社などの法人が共同募金に寄付した場合には、その全額を損金の額に算入することができます。これは、共同募金に対する寄付金が、財務省からの「指定寄付金」として認められているためです。

また、個人の寄付の場合には、所得税や個人住民税で控除の対象となります。



## ◆ 厚生労働省より

### 第1回 働きやすく生産性の高い企業・職場表彰について

厚生労働省では、労働生産性の向上と雇用確保・雇用環境の改善を両立させる企業・職場を表彰（厚生労働大臣賞）します。それとともに、優れた取組事例を収集し、広く啓発・普及していきます。ぜひ応募をご検討下さい。

#### 【応募対象】

労働生産性向上の取組が図られていることと同時に、魅力ある職場づくり（雇用管理の改善）を実現している企業、職場※1

[1] 大企業部門

[2] 中小企業部門※2

※1事業部や事業所など、特定の単位での応募も可能です。

※2業種に関わりなく、常時雇用する労働者が300人以下の事業主が対象。

#### 【審査基準】

「働きやすく生産性の高い企業・職場」を次の基準により、審査します。

労働生産性向上（付加価値向上と効率化） 雇用管理改善（働きやすい・働きがいのある職場づくり）

経営理念（方針の策定・浸透）

組織成果（組織への好影響）

#### 【応募期間】

平成28年8月23日（火）～10月31日（月）

#### 【応募方法】

働きやすく生産性の高い職場のためのポータルサイト、下記の表彰特設ページから応募用紙をダウンロードし、応募書類を作成してください。詳細については、応募要領をご参照ください。

<http://koyoukanri.mhlw.go.jp/>

#### 【問合せ先】

〒150-8307 東京都渋谷区渋谷3-1-1

公益財団法人 日本生産性本部「働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」事務局

03-3409-1121（受付時間 平日9：30～17：30）